

## 県内経済の動き [8月～10月の動き/前年との比較]

**概況** 景気低迷が長びく(個人消費・住宅着工・雇用情勢が特に厳しい)

鉱工業生産指数(8月)、大口電力使用量(9月)、細島港からの通関輸出額(9月)で見ると、生産活動の一部は持ち直しつつあるが、水準は依然として低い。大型小売店の総販売額(9月)は、休日が前年比1日増えたものの主力の衣料品販売が伸び悩み、10カ月連続で前年を下回った。エコカー補助金・減税の効果もあり、乗用車(「軽」を含む)販売台数は2カ月連続で増加した(10月)。9月の住宅着工総戸数(375戸)が過去10年間で最少、有効求人倍率(0.38倍/今年5月と同値)は平成年度で最低となった。公共工事(保証対象請負総額)は「県」「市町村」を中心に増加した(9月)。企業倒産(10月/1件)は小康を保った。一部の指標に持ち直しの動きはあるが、県内景気は依然低迷している。(枝元)